

流産、敗血症性流産、感染、治療、子宮内容除去術、抗生物質、補液1

敗血症性ショックの治療は、敗血症性流産の治療に際して、まず感染した胎盤を速やかに確認することであり、そのためには血液培養が必要である。次いで補液と抗生物質を投与し感染病巣を速やかに排除することである。医師は臨床症状を注意深くモニターし、重症化した場合には子宮摘出を含む適切に対応をすることが必要である。

Treating Spontaneous and Induced Septic Abortions

Eschenbach, David A.

Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1042-1048

【文献番号】 o12200 (妊娠、免疫、感染、生体防御、ワクチン)

産科医療、分娩、医療事故、防御体制、コミュニケーション3

効果的なコミュニケーションは、医療上の有害事象の発生を阻止する上で重要な要因である。常にといいわけではないが、ケアの際に安全性に関わる問題やケアの質に関わる問題の発生を見かけることがあるが、それに何か対応したならば報復を受けるのではないかと恐れているという調査結果が報告されている。意思の統一や指導力が安全性と質の高い周産期ケアを生み出す上で必要で、そのために我々は行動を起こす必要がある。

Transforming Communication and Safety Culture in Intrapartum Care: A Multi-Organization Blueprint

Lyndon, Audrey; Johnson, M. Christina; Bingham, Debra; Napolitano, Peter G.; Joseph, Gerald; Maxfield, David G.; O'Keefe, Daniel F.

Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1049-1055

【文献番号】 o12301 (産科関連事項)

抗 NMDA レセプター脳炎、自己免疫疾患、卵巣奇形腫、神経精神症状、痙攣3

抗 NMDA レセプター脳炎は自己免疫疾患で卵巣奇形腫に伴って認められることがある。神経精神症状、痙攣、自律神経失調などが特徴とされる。妊娠に認められることはほとんどなく、胎児への影響についてもよく知られていない。

Maternal-Fetal Transfer of Anti-N-Methyl-D-Aspartate Receptor Antibodies

Lamale-Smith, Leah M.; Moore, Gaea S.; Guntupalli, Saketh R.; Scott, Julie B.

Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1056-1058

【文献番号】 o03900 (異常妊娠関連事項)

胎児甲状腺疾患、妊娠合併症、甲状腺機能亢進症、甲状腺摘出5

妊娠 18 週という早い段階で胎児グレーヴス病が発症することがある。本症例は、母親が放射性ヨウ素を用いた甲状腺アブレーションを受け、その後甲状腺摘出を受けていたにもかかわらず胎児にグレーヴス病が発現することがあることを示すケースである。

Early Severe Fetal Graves Disease in a Mother After Thyroid Ablation and Thyroidectomy

Donnelly, Meghan A.; Wood, Colleen; Casey, Beret; Hobbins, John; Barbour, Lynn A.

Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1059-1062

【文献番号】 o03800 (妊娠合併症、内分泌疾患、偶発疾患、悪性腫瘍、血栓症、薬剤、STD)

尿失禁、中高年女性、リスク因子、受診頻度6

尿失禁のために治療を求める女性の割合に人種、民族、社会経済的背景および教育歴などは影響は与えなかった。これらの因子よりもむしろ縦断的にみた尿失禁にかかわる各種要因の変化が、中年女性において尿失禁の治療を受けたいとする最も強い要因であるということが調査の結果明らかとなった。

Factors Associated With Seeking Treatment for Urinary Incontinence During the Menopausal Transition

Waetjen, L. Elaine; Xing, Guibo; Johnson, Wesley O.; Melnikow, Joy; Gold, Ellen B.; for the Study of Women's Health Across the Nation (SWAN)

Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1071-1079

【文献番号】 g05200 (尿失禁、合併症、膀胱症状、リスク因子、処置)

肛門挙筋、会陰裂傷、鉗子分娩、吸引分娩、リスク因子7

分娩後10年を経た時点において肛門挙筋の断裂の頻度は、鉗子分娩を受けた女性においては吸引分娩を受けた女性よりもほぼ3倍上昇するという結果が得られた。

Comparison of Levator Ani Muscle Avulsion Injury After Forceps-Assisted and Vacuum-Assisted Vaginal Childbirth
Memon, Hafsa U.; Blomquist, Joan L.; Dietz, Hans P.; Pierce, Christopher B.; Weinstein, Milena M.; Handa, Victoria L.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1080-1087

【文献番号】 o05500 (頸管裂傷、会陰裂傷、母体損傷、QOL)

分娩、肛門括約筋、創部合併症、追跡調査9

分娩に伴って肛門括約筋の損傷をみた女性は産褥早期に創部合併症を認めるリスクは上昇することから分娩後直ちに、また継続的に追跡調査をする必要がある。

Wound Complications After Obstetric Anal Sphincter Injuries
Lewicky-Gaupp, Christina; Leader-Cramer, Alix; Johnson, Lisa L.; Kenton, Kimberly; Gossett, Dana R.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1088-1093

【文献番号】 o05500 (頸管裂傷、会陰裂傷、母体損傷、QOL)

帝王切開、早期帝王切開、正期産、子宮破裂、リスク因子12

児の生存がおぼつかない早期の帝王切開例においては正期産における帝王切開例と比較し、その後の妊娠で子宮破裂を認めるリスクは上昇し、横切開に限ったとしてもリスクの上昇が認められた。このようなデータから考え、生存がおぼつかない早い時期の帝王切開の実施は慎重に行い、その後のカウンセリングの際にも子宮破裂のリスクなどについて説明する必要がある。

Uterine Rupture Risk After Periviable Cesarean Delivery
Lannon, Sophia M. R.; Guthrie, Katherine A.; Vanderhoeven, Jeroen P.; Gammill, Hilary S.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1095-1100

【文献番号】 o06400 (帝王切開、合併症、VBAC、試験分娩、リスク因子、子宮破裂、子宮摘出)

ハイリスクHPV、copper-IUD、levonorgestrel-IUD、細胞診14

levonorgestrel-IUD装着群においてはcopper-IUD装着群と比較しハイリスクHPV感染のクリアランスの割合が低下したが、おそらくハイリスクのHPVに感染する割合も高まる可能性も考えられる。

Comparison of Human Papillomavirus Infection and Cervical Cytology in Women Using Copper-Containing and Levonorgestrel-Containing Intrauterine Devices
Lekovich, Jovana P.; Amrane, Selma; Pangasa, Misha; Pereira, Nigel; Frey, Melissa K.; Varrey, Aneesha; Holcomb, Kevin
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1101-1105

【文献番号】 g02800 (細胞診、コルポスコプ、スクリーニング、パピローマウイルス、LEEP、円錐切除、生検)

子癇前症、睡眠時呼吸障害、持続陽圧呼吸、産科的臨床結果15

睡眠時呼吸障害を伴った早発子癇前症の女性において持続陽圧呼吸法 (CPAP) は新たな治療法となる可能性がある。

Treatment of Early-Onset Preeclampsia With Continuous Positive Airway Pressure
Whitehead, Clare; Tong, Stephen; Wilson, Danielle; Howard, Mark; Walker, Susan P.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1106-1109

【文献番号】 o02200 (妊娠中毒症、子癇前症、妊娠高血圧、妊娠高血圧性疾患、腎機能障害、胎盤剥離、子癇、リスク因子)

経膣分娩、子宮筋腫、弛緩出血、胎盤遺残、子宮筋腫核出術、緊急手術16

一般には勧められることではないが、経膣分娩後に子宮筋腫に伴う弛緩出血と胎盤の遺残を認めたため、子宮筋腫核出術を試みたが、この方法は症例によっては救命処置として有効な対応法ではないかと思われる。

Myomectomy After a Vaginal Delivery to Treat Postpartum Hemorrhage Resulting From an Intracavitary Leiomyoma
Tower, Amanda M.; Cronin, Beth
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1110-1113

【文献番号】 o05700 (産褥異常関連事項)

月経随伴異常、自己免疫プロゲステロン皮膚炎、ステロイドアドバック負荷試験..... 17

月経随伴異常である自己免疫プロゲステロン皮膚炎を診断しその治療の指針を得るためにはGnRH ago-nistとステロイドのアドバック負荷試験を併用することが有用と思われる。

Gonadotropin-Releasing Hormone Agonist Use to Guide Diagnosis and Treatment of Autoimmune Progesterone Dermatitis
Domeyer-Klenske, Amy; Robillard, Diana; Pulvino, John; Spratt, Daniel
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1114-1116

【文献番号】 r12160 (早発閉経、月経異常、月経困難症、不正出血、月経前症候群、アッシャーマン症候群)

処女膜閉鎖、性交障害、外陰皮膚疾患、ホルモン療法、処女膜切除術..... 18

処女膜閉鎖や線維化は見出し得る外陰の皮膚疾患が存在しないにも関わらず発生することがある局所のホルモン療法や膣拡張器などを用いた保存的な治療が無効な場合は、処女膜切除術が正常な性交を可能にする唯一の方法となる。

Hymenal Stenosis and Fibrosis in Two Adult Women
Goldstein, Andrew T.; Todd, Sarah; Bedell, Sarah; Tabbarah, Abeer
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1117-1119

【文献番号】 r12310 (性生活、性欲、性的活動、性交障害、勃起障害)

早期妊娠、妊娠中絶、手動式吸引法、電動式吸引法、有効性..... 19

妊娠6週未満の中絶に手動式装置あるいは電動式吸引装置のいずれの方法も有効である完全流産に至ったか否かを判定するためにhCGによるモニタリングを必要とする例もあるが、早期の吸引手術は極めて有効性が高く完全掻爬となる割合は高い。

Manual Compared With Electric Vacuum Aspiration for Abortion at Less Than 6 Weeks of Gestation: A Randomized Controlled Trial
Dean, Gillian; Colarossi, Lisa; Porsch, Lauren; Betancourt, Gabriela; Jacobs, Adam; Paul, Maureen E.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1121-1129

【文献番号】 o06100 (妊娠中絶、D & C、子宮内容清掃術、薬物療法、合併症)

更年期障害、hot flush、呼吸数減速装置、音楽聴取法..... 21

無作為対照試験において、呼吸数減速装置に割り当てられた女性においてはhot flushの頻度と重症度にわずかな改善が認められた。しかし、呼吸数減速装置による介入法は音楽聴取法よりも有用性は有意に劣るという結果が得られた。

Device-Guided Slow-Paced Respiration for Menopausal Hot Flashes: A Randomized Controlled Trial
Huang, Alison J.; Phillips, Sara; Schembri, Michael; Vittinghoff, Eric; Grady, Deborah
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1130-1138

【文献番号】 r12300 (ホルモン補充療法、更年期、骨粗鬆症、性機能、代替療法、男性若返り療法、アンチエイジング、閉経)

子宮摘出術、子宮静脈血栓症、リスク因子..... 23

調査の結果、子宮摘出後の子宮静脈血栓症のリスク因子はBMIが35以上、腹式子宮摘出術、手術時間の延長、手術の適応が癌であること、などであることが明らかとなった。

Risk Factors for Venous Thromboembolism After Hysterectomy
Swenson, Carolyn W.; Berger, Mitchell B.; Kamdar, Neil S.; Campbell, Darrell A. Jr; Morgan, Daniel M.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1139-1144

【文献番号】 g07520 (婦人科手術、術後合併症、術後癒着、術中合併症)

腹腔鏡下手術、子宮筋腫核出術、電動細切法、ラテックス手術用グローブ..... 25

ラテックス手術用グローブを利用し腹腔内において摘出物を収納し、破損を避けながら閉鎖状態で細切術を行うことによって、従来から行われている電動細切術と比較しバッグの破損や漏出などに関わるリスクを低下させることができるという結果が得られた。

Innovative Technique for Enclosed Morcellation Using a Surgical Glove
Akdemir, Ali; Taylan, Enes; Zeybek, Burak; Ergenoglu, Ahmet Mete; Sendag, Fatih
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1145-1149

【文献番号】 g07300 (腹腔鏡下手術、ミニラパロトミー、ロボット手術)

妊娠悪阻、栄養障害、完全非経口栄養、チアミン欠損症、ウェルニッケ脳症27

妊娠悪阻のため完全非経口栄養補給を受けた妊婦に、チアミン欠損に伴う臨床的問題が引き起こされることがある。完全非経口栄養に用いられる補液の組成は標準化されていないことから、医師は合併症を回避するためにすべての必須栄養素の補給を心がける必要がある。

Iatrogenic Wernicke Encephalopathy in a Patient With Severe Hyperemesis Gravidarum
Giugale, Lauren E.; Young, Omar M.; Streitman, David C.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1150-1152

【文献番号】 o02100 (妊娠悪阻)

正期産、単胎骨盤位、帝王切開、経膈分娩、陣痛発来、複合的新生児死亡/合併症28

正期産を迎え奇形を伴わない単胎骨盤位において、陣痛を伴わない帝王切開群に比べ経膈分娩群および陣痛発来後の帝王切開群において、複合的新生児死亡/合併症の発現率は有意に高い値を示した。

Delivery of Breech Presentation at Term Gestation in Canada, 2003-2011
Lyons, Janet; Pressey, Tracy; Bartholomew, Sharon; Liu, Shiliang; Liston, Robert M.; Joseph, K.S.; for the Canadian Perinatal Surveillance System (Public Health Agency of Canada)
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1153-1161

【文献番号】 o04400 (回旋異常、骨盤位、横位、後方後頭位、低在横定位、CPD、巨大児、骨盤計測)

帝王切開、計画的経膈分娩、計画的帝王切開、新生児合併症、新生児死亡33

大規模な臨床治験で正期産を迎えた骨盤位に対し計画的帝王切開と計画的経膈分娩の臨床結果の比較が行われているが、計画的帝王切開は複合的周産期死亡と重度新生児合併症の発現率を減少させると述べられている。一方、両群間で児の臨床結果に差異は認められないとの報告もある。正期産骨盤位分娩研究やPREMODA研究、さらにオランダ、デンマークあるいはカナダなどで行われた研究によれば、計画的帝王切開の実施率を高めることによって、新生児の臨床結果を改善することができるという結果が得られている。したがって、これらの根拠を基に考えた場合、正期産を迎えた骨盤位に対し計画的帝王切開を行うことが相対的に安全と思われる。

Once More Unto the Breech: Planned Vaginal Delivery Compared With Planned Cesarean Delivery
Joseph, K.S.; Pressey, Tracy; Lyons, Janet; Bartholomew, Sharon; Liu, Shiliang; Muraca, Giulia; Liston, Robert M.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1162-1167

【文献番号】 o04400 (回旋異常、骨盤位、横位、後方後頭位、低在横定位、CPD、巨大児、骨盤計測)

自然早産、胎児フィブロネクチン、定量的測定法、診断精度35

自然早産のリスクを調べるために頸管腔分泌液を対象とした定量的胎児フィブロネクチン測定法を用いることによって精度の向上を図ることができる。胎児フィブロネクチンが 10ng/mL 未満の場合にはリスクが低いと考え、200ng/mL 以上をリスクが高いと考えることができ、これらの値を今までの検査法の代替の閾値として使用することができる。このような測定法は頸管長の短縮した無症候性の女性に特に有用ではないかと思われる。

Quantitative Fetal Fibronectin to Predict Preterm Birth in Asymptomatic Women at High Risk
Abbott, Danielle S.; Hezelgrave, Natasha L.; Seed, Paul T.; Norman, Jane E.; David, Anna L.; Bennett, Phillip R.; Girling, Joanna C.; Chandirmani, Manju; Stock, Sarah J.; Carter, Jenny; Cate, Ruth; Kurtzman, James; Tribe, Rachel M.; Shennan, Andrew H.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1168-1176

【文献番号】 o01300 (早産、切迫早産、子宮収縮抑制、診断、治療、リスク因子、モニタリング、ACS、ステロイド)

早産、リスク因子、既往歴、世代間効果39

自らが早産で出産した女性においては早産で児を出産するリスクは上昇する。このような早産のリスクの上昇は高血圧や糖尿病などの早産のリスク因子は関わっていない。

Risk for Preterm and Very Preterm Delivery in Women Who Were Born Preterm
Boivin, Ariane; Luo, Zhong-Cheng; Audibert, Francois; Masse, Benoit; Lefebvre, Francine; Tessier, Rejean; Nuyt, Anne Monique
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1177-1184

【文献番号】 o01300 (早産、切迫早産、子宮収縮抑制、診断、治療、リスク因子、モニタリング、ACS、ステロイド)

帝王切開、肥満女性、cefazolin、至適投与量、組織濃度41

帝王切開を受けた肥満女性において、cefazolinを通常使用量の2gに替え3gを予防投与したとしても脂肪組織における有意な上昇はもたらされないという結果が得られた。したがって、肥満女性に3gの投与を勧めることはできない。

Cefazolin Prophylaxis in Obese Women Undergoing Cesarean Delivery: A Randomized Controlled Trial
Maggio, Lindsay; Nicolau, David P.; DaCosta, Melissa; Rouse, Dwight J.; Hughes, Brenna L.
Obstet Gynecol. 2015 May;125(5):1205-1210

【文献番号】 o06400 (帝王切開、合併症、VBAC、試験分娩、リスク因子、子宮破裂、子宮摘出)